

2002年7月12日

各 位

京都市下京区烏丸通五条上高砂町381-1  
アイフル株式会社  
代表取締役社長 福田 吉孝  
(コード番号 8515)  
(上場取引所 東証第1部・大証第1部)  
決算期 3月  
問い合わせ先 広報部長 香山 健一  
TEL 03-3274-3560(広報部)  
03-3274-4561(IR課)  
FAX 03-3274-4581

## < アイフル協賛 >

# 第2回「ボランティア・ハートフル賞」 の募集を開始

「ボランティア活動を企画している」(ボランティア活動がしたい)  
個人・団体から広く「アクションプラン」を募集し、  
「心温まる」「夢のある」素晴らしいプランに対して活動支援金を授与

アイフル株式会社(社長：福田 吉孝)が協賛する「ボランティア・ハートフル賞」(主催：ボランティア・ハートフル賞実行委員会)では、2002年7月15日(月)より「第2回ボランティア・ハートフル賞」の募集を開始致します。

### アイフル株式会社協賛の主旨

アイフルでは、社会貢献活動として、これまでも、全国各地で開催される地域イベントやスポーツイベントに参加・協賛してきました。

「ボランティア・ハートフル賞」につきましては、アイフルが、新たな社会貢献活動として「ボランティア活動を志す方々を応援していきたい」との考えから、国連が提唱した昨年の「ボランティア国際年」を契機に創設、協賛し、これからボランティア活動を企画・実施したいと考えている個人・団体を支援しています。

### 「ボランティア・ハートフル賞」概要

本賞は、「ボランティア活動を志す方々を応援する」ことを主旨に、“これから「実現してみたい」ボランティア活動プラン(アイデア)”を募集いたします。

応募された作品は、11月の審査会において、ボランティア活動に関連した学識・有識者などで構成する審査員により、「発想力」「着眼点」「創造性」「企画力」「発展性」「継続性」の6項目の審査基準で選考を行います。「心温まる」「夢のある」素晴らしいプランの応募者3~5(名・団体)に対し、ボランティア活動支援金として、それぞれに50万円を授与いたします。贈呈式は12月に実施する予定です。

\*前回の受賞者とプランについては別紙をご参照ください。

## < 「第2回 ボランティア・ハートフル賞」募集要項 >

- 名 称 「第2回 ボランティア・ハートフル賞」  
主催 ボランティア・ハートフル賞実行委員会  
後援 日本青年奉仕協会、東京ボランティア市民活動センター  
協賛 アイフル株式会社
- 応募内容 あなたが「実現してみたい」ボランティア活動プランを募集
- 応募資格 応募時に18歳以上であること。
- 応募方法 専用のホームページから応募用紙をダウンロードして、必要事項記入の上、郵送にて応募。  
事務局に問い合わせて、応募用紙を取り寄せて応募。
- 応募期間 2002年7月15日(月)より9月30日(月)締切り 当日消印有効
- 応募先 事務局住所 / 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-5 モリモビル1F  
ボランティア・ハートフル賞実行委員会 事務局  
TEL 03-5774-9260  
ホームページ / <http://www.heartful-v.com>
- 賞 素晴らしいプランの応募者3~5(名・団体)に対して、ボランティア活動支援金として、それぞれに50万円を贈呈
- 審査員(予定) 東京ボランティア市民活動センター 所 長 山崎 美貴子  
市民ボランティアネットワークがんばろう神戸 代表/俳優 堀内 正美  
日本青年奉仕協会 常務理事 祐成 善次  
アイフル株式会社 取締役 曾我部 義矩 ほか
- 発表 受賞者にはハガキまたはメールにて通知。受賞の内容はホームページにて公開。

本件に関するお問い合わせ先

『ボランティア・ハートフル賞』実行委員会 事務局 服部・長岡

(TEL 03-5774-9260、FAX 03-5778-4747、平日10~18時、土日祝休)

「第1回 ボランティア・ハートフル賞」受賞者（敬称略）

応募期間：2001年7月16日～10月26日

応募総数：132件

小島 まこと(おじま まこと) 『障害者が表現を楽しむためのオープンアトリエづくり』

宮城県

応募プラン：知的障害者のためのオープンアトリエを作り、広く開放することにより、障害者もアートを通じて自己解放や表現活動を体感できるようにするというプランを計画。

そもそも学校などにおける知的障害者のための美術プログラムがあまり充実していないという問題意識から、このアイデアに至りました。

加藤 源重(かとう げんじゅう) 『優しい福祉用具づくりを目指す技術ボランティアの育成』

愛知県

応募プラン：定年を迎えた技術者が中心となり、障害者や高齢者に優しい福祉用具づくりを行う福祉工房をすでに設立。今後、この技術ボランティアをさらに育成し、愛知県の各市に活動領域を広げていくというプランを計画。

この活動は、利き腕の右手の指をすべて失い、自ら各種の福祉用具を開発した経験に基づいたものでした。

後藤 いく(ごとう いく) 『入院している子供たちのための院内ボランティア活性化』

埼玉県

応募プラン：お子様の長い入院生活をきっかけに、ちょっとした手助けで入院生活がより人間らしく、より豊かになることを実感。そこで、お子様が退院されたときからずっと院内ボランティアを計画。

今後は、他のボランティアグループとの情報交換をしつつ、入院中の子供たちとの交流を深めていく。

近藤 記巳子(こんどう きみこ) 『愛知ヒメボタルサミットの開催を通じた一般の理解獲得』

愛知県

応募プラン：10年前に立ち上げた自然観察会を通じて、ヒメボタルの存在を知る。その後、このホテルに魅了され、調査・研究を重ねるうちに他県で開かれたヒメボタルサミットを知り、同様なサミットを愛知で開くことを計画。

これをヒメボタル研究の発表の場にすると共に、ヒメボタルへの理解を深める機会にしていく。

杉浦 邦彦(すぎうら くにひこ) 『在日外国人との共生を目指す生活支援ツールの開発』

愛知県

応募プラン：在日外国人が日本で快適に暮らせるように、日本の行政・生活・教育を説明するビデオやパンフレットなどを作り、配布するプランを計画。

現在お住まいの地域にブラジル人、ペルー人の方々が増え、言葉が通じないために多くのトラブルが発生しており、地域のボランティアがこうした活動をする必要性を感じた。